

ふくし体験 ② 手話

9月9日 体験の前と、体験しながら書くページ

名前

はじめに。手話は、手のかたち・手の位置・手の動きに、顔の表情まで合わせて伝える**ひとつの言語**です。手だけまねしても伝わりません。顔もいっしょに動かします。

① サイトを読んで分かったこと

学習サイトの「手話」のページを読んでから書きます。1つでいいです。

② 今日、ならいたい手話

サイトのリストから選びます。**なぜそれをならいたいのか**も書きます。

1	
2	
3	

③ ゲストティーチャーの方に聞きたいこと

サイトの「しつものたね」を、**自分のことばに書き直して**使います。

1	
2	
3	

④ 体験しながらメモを取ろう

手話の動きは、絵でかいてもいいです。

5 分かったこと

体験して、あたらしく分かったことを書きます。

6 心が動いたこと

びっくりしたこと。うまくいなくてくやしかったこと。うれしかったこと。

7 手話以外で、耳の不自由な人に伝える方法

今日知ったものを、ぜんぶ書き出します。筆談、字幕、光、ふるえ。ほかにもあります。

8 まちのどんなところを変えたら、いいと思いますか？

これがいちばん大事な問いです。「聞こえないと大変だ」で終わりにしません。音だけでおしらせを出しているまちのほうに、直せるところがありそうです。学校の中のこともいいです。

9 「次の食事は3時です」と放送が流れました。このおしらせは、だれに届かないでしょうか

届かない人を書きます。どうすれば届くかも書きます。

10 次に、たしかめたいこと
